

資源の有効利用について考える

自然を活かしたエコロジー

海風と堅い岩盤から育まれた肉厚で丈夫な竹が多い佐渡では、古くから竹工芸が盛んでした。しかし近年、プラスチック製品等が流通し、竹の利用が減り、荒廃した竹林が多くなりました。竹林の整備などを学び、竹の有効利用を考えたり、自然にあるものを使い、自然と共に生活してきた日本人の暮らしを見つめなおします。

学習のねらい



自然・環境

- 1 昔の日本人は竹をうまく加工して様々な生活用品を作っていた。昔の暮らしについて話を聞いたり調べてみる。
- 2 竹の性質を学び、どういふものに活用されているのか、活用できるのかを考える。
- 3 地域の資源を活用し、みんなで力を合わせて一つのものを作る。共同作業をすることで、他人とのコミュニケーション能力の向上を図り、完成させることで達成感を得る。



活動1 事前学習

竹について調べてみよう

竹はかごや水筒、花入れなどの日用品、武道具・楽器・建築資材など幅広く活用されています。竹の性質を調べ、どのように使われているか調べてみてください。



活動2 所要時間 1時間半

「竹林間伐」竹を切り出してみよう

「間伐」とは木や竹を間引くことです。竹林の中で成長した竹が混みあい、お互いの成長を邪魔するようになるので、一部の木を間引いて、残った木が枝葉を伸ばし、光を十分に浴びて成長できるようにすることです。ノコギリを使って切り出します。



活動3 所要時間 2~4時間

おもちゃ、イカダ、流しそうめん…竹を使って楽しもう

切り出した竹を工夫して加工します。縄で組んでイカダを作ったり、半分に割って流しそうめんをしたり、乾燥させた竹で竹トンボ・やじろべえなどのおもちゃ作りも体験できます。ナイフなどの工具の使い方を学べます。



お問い合わせ



佐渡観光交流機構
〒952-0011 新潟県佐渡市両津夷353 (両津港佐渡汽船ターミナル2F)
TEL. 0259-58-7285

竹の効用

竹林は、光合成を通じて、二酸化炭素(CO₂)排出量削減に大きく貢献します。一部の竹の種類は、成長が最も速い商用樹木の中でもモミやユーカリと同等かそれ以上にCO₂を吸収できます。さらに、地下茎が土壌流出を抑え、洪水や地すべりの際に山の斜面や川岸が押し流されるのを防ぐ効用があります。